

2022 年 7 月 7 日

Habia Cable についてのご案内



1) **Habia Cable** のご紹介

Habia グループは 1941 年（昭和 16 年）にスウェーデンでカール・ヘルバート・ヤコブソンによって設立された歴史ある会社です。1957 年（昭和 32 年）に最初のケーブルを開発・生産し、1960 年代にはケーブルビジネスも拡大してフランス、ドイツ、フィンランド等にも工場を作り国際的な展開を図りました。そして 1970 年代にはフランス、ドイツ、英国、スペイン、ベルギー、米国に事務所を構えて世界市場を狙うようになりました。

1985 年に Habia グループは分割され、Habia Cable は Beijer Alma グループの一員となりました。2005 年にはラトビア工場、2008 年にはハーネス工場をポーランドに、そして 2009 年には中国工場が立ち上がりました。

2022 年現在は本拠地のスウェーデン、ドイツ、中国、ラトビア、ポーランド等にて生産を行っております。そして日本では現在、有限会社サファルインターナショナルが Habia Cable の製品を日本総代理店として輸入販売しております。

Habia Cable は欧州最大のフッ素樹脂（テフロン）被覆による特殊電線の専門メ

ーカーとして知られております。スウェーデン本社に約 200 名、中国工場に約 200 名、ドイツ工場に約 50 名、ポーランド工場に約 15 名の従業員を抱えて操業しております。年間売り上げ 100 億円規模の企業です。

多種のケーブルを製造しておりますが、主には -50°C から $+450^{\circ}\text{C}$ という広い温度帯に対応できるケーブルが主力です。フッ素樹脂（テフロン）被覆はこのような広い温度帯に対応出来ます。特に最近は環境問題による規制（RoHS2、REACH、CE マーキングの準拠が求められる）もあってハロゲンフリーの要求が厳しくなっておりますが、これらに対応している **Habia Cable** の製品は火災事故の際にも安全が確保されることから近年需要が大きく伸びております。



2) 船用ケーブルについて

Habia Cable の製品は通信用、計装・測定器用、産業用、等様々な用途に使われ

ておりますが、今回特にご紹介申し上げたいのは船用ケーブルです。申し上げるまでもございませんが、高温環境下、かつ化学品防御に優れた **Habia Cable** が製造する軽量ケーブルは船用ケーブルとして求められている多くの要求を満たす優れた製品です。



そして競合する多くのケーブルメーカーと比較すると **Habia Cable** の製品は多品種、少量にも対応し、そして迅速な納期、競争力のある価格帯でお客様にお届けする事が出来ます。同社が製造する主な船用ケーブルとして下記の 3 種をここにご紹介申し上げます。

(A) RTFRO ケーブル

37 年前に開発されたケーブルで、船舶エンジンのライセンサーである **MAN Energy Solution** 社による認定を受けた製品です。高温(150℃)にも対応可能です。船用として求められる船級については、**DNV GL**、**NK**、**BV**、**ABS***を取得しておりますので輸出、国内いずれも問題ございません。

(B) DMFRO ケーブル

これも同じく船舶エンジンのライセンサーである MAN Energy Solution 社による認定を受けた製品です。特筆すべき点として DMFRO タイプは 2018 年にハロゲンフリーに対応出来るタイプとして開発された製品で、火災が起きても煙を発生しにくく、有害物質を発生させないという乗組員の安全を確保出来るケーブルです。最近の欧州市場ではハロゲンフリーは必須条件になりつつありますことをご存じの通りです。もちろんこの DMFRO ケーブルも高温（130℃）に対応可能です。船用として求められる船級については、DNV GL、CCS、LR、NK、BV、ABS*を取得しております。



(C) RNM ケーブル

上記のケーブル、RTFRO、DMFRO の廉価版で特に日本国内向けとして開発されたものです。従って船級は NK*を取得しております。

*船級の名称について

DNV GL	(formerly Det Norske Veritas & Germanischer Lloyd)
ABS	(American Bureau Veritas S.A.)
BV	(Bureau Veritas S.A.)
CCS	(China Classification Society)
LR	(Lloyds Register)
NK	(日本海事検定協会)

3) Habia Cable の主な顧客について

Habia Cable は日本に進出しておよそ 20 年が経過しております。その間、船舶用エンジンを製造している日本企業の多くに販売実績を持ち、そのほかにも通信関係、計測器関係、発電関係などに関連した日本企業の皆様に同社のケーブルを提供させて頂いております。ご存じのようにフッ素樹脂（テフロン）被膜ケーブルを製造しているメーカーは日本国内、欧米にもいくつかございますが、それらと競合して皆様にケーブルを提供している事で、Habia Cable の品質の高さ、価格競争力、等の優れた点が証明されているのではないかと自負しております。

そして船用ディーゼルエンジン向けとしては以下の企業、ないしはライセンスで製造している企業向けの実績がございます。



***4-ストロークエンジン**

- ヴァルチェラ 殿
- ダイハツディーゼル 殿
- MTU 殿
- キャタピラー 殿

***2-ストロークエンジン**

- MAN Energy Solutions 殿
- WinGD 殿

尚、皆様にも広く知られておりますが、MAN Energy Solutions は Habia Cable を含む 3 社の製品のみを自社エンジン向けケーブルに承認しております。

Habia Cable にご興味ございましたら、あるいは何かご質問ございましたら是非弊社にお問い合わせ頂きたいお願い申し上げます。

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-4-1 新宿 Q フラットビル 309

有限会社 サファルインターナショナル

社長 三木 建人

電話 03-5366-7058 FAX 03-5367-6179

e-mail: safar-mk@courante.plala.or.jp

safar-yano@email.plala.or.jp